



プラス・ミュージアム・プログラムは、わたしたちを取り巻くさまざまな課題にミュージアムならではのやり方でアプローチする方法を学ぶ3年間のリカレント教育プログラムです。関連諸分野との真摯な対話を通じて、ミュージアムの強みを見つめ直し、その可能性をひらいていくことを目指します。1回だけの参加、オンラインでの参加、遠方からの参加も歓迎します。



プラス・ミュージアム・プログラム 特論

つながる・ひろがる

ミュージアムの未来

— 空間・ことばにおける日常化と異化

参加者募集

12月17日開催 クロストーク
工学研究院 × 文学研究院

ミュージアムは、時には展示物を黙って眺める閉ざされた空間であったり、時には動物園のように開かれたものであったり、公共空間として私たちの生活に馴染んできました。そして現在は、ミュージアムの役割の拡張とともに、ミュージアム空間の異化が促されて、壁の中で完結することなく、ミュージアムを中心に形成された領域がひろがっています。

日本の建築における空間に対する捉え方の変容。目にみえない仕切りを建てる「禁止事項」の文化背景と歴史。ミュージアムという空間によって作り出された「鑑賞者」が発した「ことば」の価値とはどのようなものなのか。つながって・ひろがっていくミュージアムの未来について、「空間」と「ことば」を切り口に考える。

■ お問い合わせ

Mail: plusm@let.hokudai.ac.jp TEL: : 011-706-4053 ☎060-0810 札幌市北区北10条西7丁目北海道大学文学研究院内「プラス・ミュージアム・プログラム」事務局

■ プログラム

13:00～13:10 開催の挨拶、趣旨説明
13:10～13:30 小澤丈夫（工学研究院）「建築が
つくる領域性と関係性」
13:30～13:50 今村信隆（文学研究院）「博物館
の禁止事項—「飲食」と「静粛」
の歴史から考える、ミュージアム
とライフの接点」
13:50～14:10 小篠隆生（工学研究院）「建築・
都市に必要な Defamiliarization」
14:10～14:30 佐々木亨（文学研究院）「ミュー
ジウムにおけるくことば・物語・
身体>」
14:50～15:50 ディスカッション

■ 登壇者

小澤 丈夫（北海道大学工学研究院教授、北海道
大学総合博物館 館長）

今村 信隆（北海道大学文学研究院 准教授）

小篠 隆生（北海道大学工学研究院 准教授）

佐々木 亨（北海道大学文学研究院 教授）

■ 司会

卓 彦伶（北海道大学文学研究院 特任准教授）

■ 開催日時

2022年12月17日（土）13時～16時

■ 会場情報

札幌市北区北10条西8丁目北海道大学総合博物館1階
講演室・知の交差点（ミュージアムカフェぼらす隣）

■ 参加方法

事前お申込みは不要です。直接会場へお越しください。